土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　一級河川　江の川水系　宮奥谷川　測量設計地質調査業務委託（通常砂防・交付金）

事業名 または 工事名

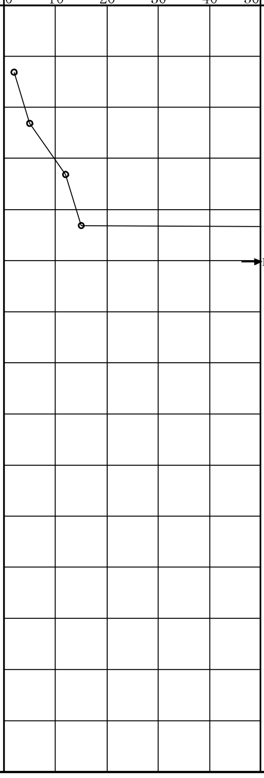
調査目的及び調査対象　砂防 砂防

ボーリング名	Bor-No.3	**調査位置**	広島県庄原市比和町森脇地内			**北緯**	35° 00′ 26.4058″
発注機関	広島県北部建設事務所庄原支所			**調査期間**	2022年　5月 12日 ～ 2022年　5月 16日	**東経**	132° 59′ 33.1853″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**		**ボーリング責任者**	
孔口標高	T.P. 489.56m	**角度**	180° 上 下 90° 0° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 40°
総削孔長	8.00m			**使用機種**	**試錐機** 東邦D0	**エンジン** ヤンマーNF-10	**ポンプ** 東邦BG-3

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
	488.96	0.60		礫混じり砂質シルト		黒褐		rc1	新生代第四紀	表土。黒ボク土と腐葉土の互層。有機質なシルトでφ20mm程度の角礫が点在。	
	485.06	4.50		粘土混じり砂礫		淡灰褐	rd2			全体に不均質な崖錐堆積物。φ数mm～40mmの流紋岩亜角礫主体。褐色粘土が不規則に混在する。礫は概ね硬質であるが風化礫も混じる。φ数mmの石英粒が見られるが異種礫は混入しない。2.50m付近，樹皮片混入。	
	484.76	4.80		強風化流紋岩					中生代白亜紀	DH級，軟岩I相当。φ5～7cmの角礫状コア主体。	
	484.46	5.10		風化流紋岩						CL級，軟岩I相当。角礫状～岩片状コア。	
	481.56	8.00		風化流紋岩		青灰				CM級，軟岩II相当。コア長10cm程度以下の岩片状～短柱状コア。岩片は比較的硬質であるが割れ目は褐色を帯びる。ハンマー軽打で割れ目は分離する。	

標尺 (m): 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14

標準貫入試験　深度－N値図（0, 10, 20, 30, 40, 50）



N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
2	1.15～1.45	1/150	1/150		2/300								5/12
5	2.15～2.45	1	2	2	5/300								
12	3.15～3.45	4	4	4	12/300								
15	4.15～4.45	6	4	5	15/300								
1500	5.00～5.01	50/10			50/10	10							5/13